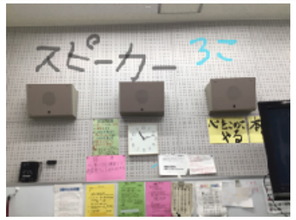
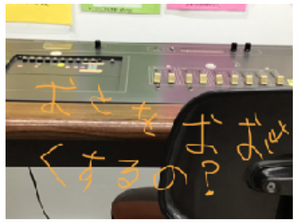
STEAM教育

具体的実践（1年生）





見つけたものや疑問をメモする

マップにまとめて紹介する

学校探検をしたり、先生にインタビューをしたりして、学校のことを知る。

単元構想

1学年　単元名『だいすきがいっぱい』

身につけたい資質・能力

知識・技能	○様々な施設や人、物との関わりに気づき、図画工作科･国語科の技能を活かして表現する。
思考・判断・表現	○効果的に伝えるために、表現の仕方を工夫する。
主体的に学習に取り組む態度	○振り返りを行いながら、積極的に人と関わり合い、課題を解決しようとする。

指導方法	体験型学習による表現

問題の解決

小学校のことを新しい1年生に紹介する

あたらしい1ねんせいにだいすきをおしえよう

地域の幼稚園児との交流授業参観 → 課題設定 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

国語科　出来事の順に話す

国語科　小学校のことをしょうかいしよう

図画工作科　絵で伝える

たのしいあきいっぱい

おもちゃ作りをする → 課題設定 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

国語科　なににみえるかなはっけんしたよ

むかしのあそびをたのしもう

音楽会

むかしあそび発表会 → 課題設定 → 地域のお年寄り先生方、上級生 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

がっこうのことをしりたいな

気づきを絵やマップで紹介する → 課題設定 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

むかしあそび交流会

学校を探検する先生にインタビューする

問題：学校のことを、まだ知らない。

指導体制	1組むかしあそび、たのしいあきいっぱい 2組がっこうだいすき、もうすぐ2年生 主となる単元を分担する
学習活動	学校生活を通しての「だいすき」を絵や言葉、写真、動画などで表現し、新しい1年生に五福小の様子を伝える。
学習評価	振り返りシートによる形成的評価 パフォーマンス評価

小学校のことを新しい1年生に紹介する

年長さんに小学校のことを知ってもらうための交流会をする。

どんぐりや松ぼっくりなどで秋のおもちゃを作り、五福幼稚園の年長さんに楽しんでもらう交流会をする。絵や写真を使って年長さんに分かりやすく伝えられるように工夫する。

自分で計画を立てて、友達と協力して準備する

地域の方に昔遊びを教えてもらう交流会をして、五福の町の人と関わる。

音楽会でも昔遊びを取り入れて発表。

STEAM教育　具体的実践（2年生）

ロイロノートでまとめる

「どきどきわくわくまちたんけん」の学習でごふくのまちを探検する。

単元構想

2学年　単元名『まちのすてきをとどけよう』

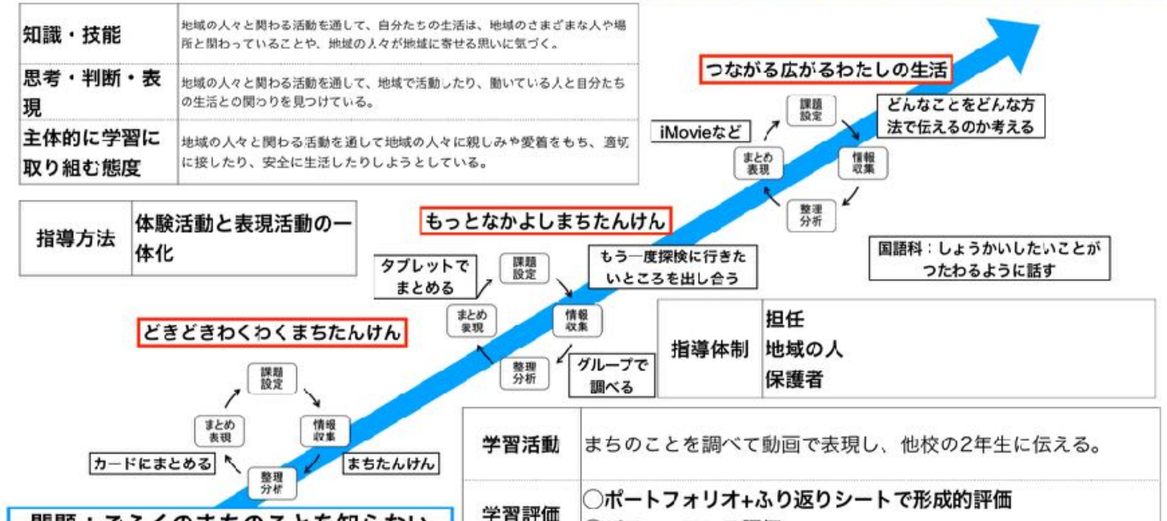
問題の解決

他校との交流会をして、ごふくのまちのすてきを伝える

身につけたい資質・能力

知識・技能	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気づく。
思考・判断・表現	地域の人々と関わる活動を通して、地域で活動したり、働いている人と自分たちの生活との関わりを見つけている。
主体的に学習に取り組む態度	地域の人々と関わる活動を通して地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

指導方法	体験活動と表現活動の一体化



指導体制	担任 地域の人 保護者

学習活動	まちのことを調べて動画で表現し、他校の2年生に伝える。
学習評価	○ポートフォリオ+ふり返りシートで形成的評価 ○パフォーマンス評価

問題：ごふくのまちのことを知らない

他校との交流会をして、ごふくのまちのすてきを伝える

他校との交流会をして、五福のまちにのことを伝える。1回目zoomで交流、２回目は対面での交流

もう一度行きたい場所を出し合い、グループで調べたいことを決める。

グループごとに探検に出かけ、インタビューをしたり、買い物をしたりする。

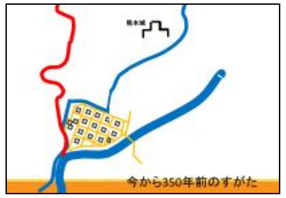
グループごとに、調べたことを新聞にまとめる。

STEAM教育　具体的実践（3年生）

町探検で五福の町は、古い建物やお寺があることに気づく。

町探検で行った場所や撮った写真を参考に、五福の町マップを作成。地図記号も加えて見ると寺の多さに気づく。

市役所の方から五福の町のでき方について話を聞く。町名に関すること、寺が多い理由について知る。



単元構想

3学年　単元名『発見！五福のひみつ』(お寺と町名)

身につけたい資質・能力

知識・技能	地域やお寺の良さを知り、社会科・図画工作科・国語科の技能を活かして表現する。
思考・判断・表現	効果的に伝えるために、構成や図案・話し方などの表現を工夫する。
主体的に学習に取り組む態度	振り返りを行いながら、仲間と積極的に話し合い、よりよい作品にしようとする。

指導方法	グループ学習でのプロジェクト学習によるメディア表現

問題：自分や保護者が五福の町の魅力を知らない

保護者へのアンケート　五福の町について知っていることはありますか？(なぜ古町と呼ばれているか、他の町との違い、町の問題点 など)

社会科：地域の様子を地図に表す。

グループで一つ選ぶ　課題設定　情報収集　まとめ表現　整理分析

どうしてこんな町のつくりなのだろう？

どうして寺が多いのだろう？

五福の町名を知る　お寺の調べ学習

文章でまとめる　スケッチする　課題設定　まとめ表現　情報収集　整理分析

どうしてこんな町名なのだろう？

寺の仕事は何だろう。

町名と由来の調べ学習　お寺の見学をする　図画工作科：水彩画の表現

ポスターセッション

どう表現すればいいのだろう？

課題設定　まとめ表現　情報収集　整理分析

iPadによる撮影・録音・編集　国語科：文章での表現・話し方

ミニ番組「五福ふしぎ発見！」を作って見せよう

動画にして保護者に伝える。　授業参観で発表

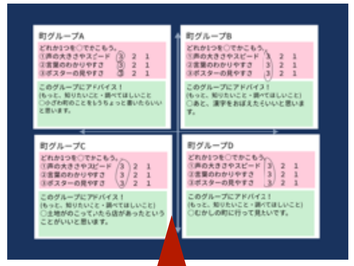
問題の解決

指導体制	○熊本市役所からの情報提供。 ○お寺や関係機関との連絡は担任が行う。 ○ICTの操作は、支援室と連携して行う。
学習活動	五福の地域にある魅力を調べてミニ番組を制作し、保護者や地域の人たちに伝えることで地域への理解を深める。
学習評価	○ポートフォリオ＋3分程度の振り返りシートで形成的評価 ○パフォーマンス評価

寺グループと町グループに分かれて調べ学習を行い、地域の方、お寺の方からお話を聞く。

五福の町の秘密に関するミニ番組を作って魅力を伝える

相互評価をもとに、情報の伝え方改善を測り五福の町の秘密をまとめた番組を作成する。

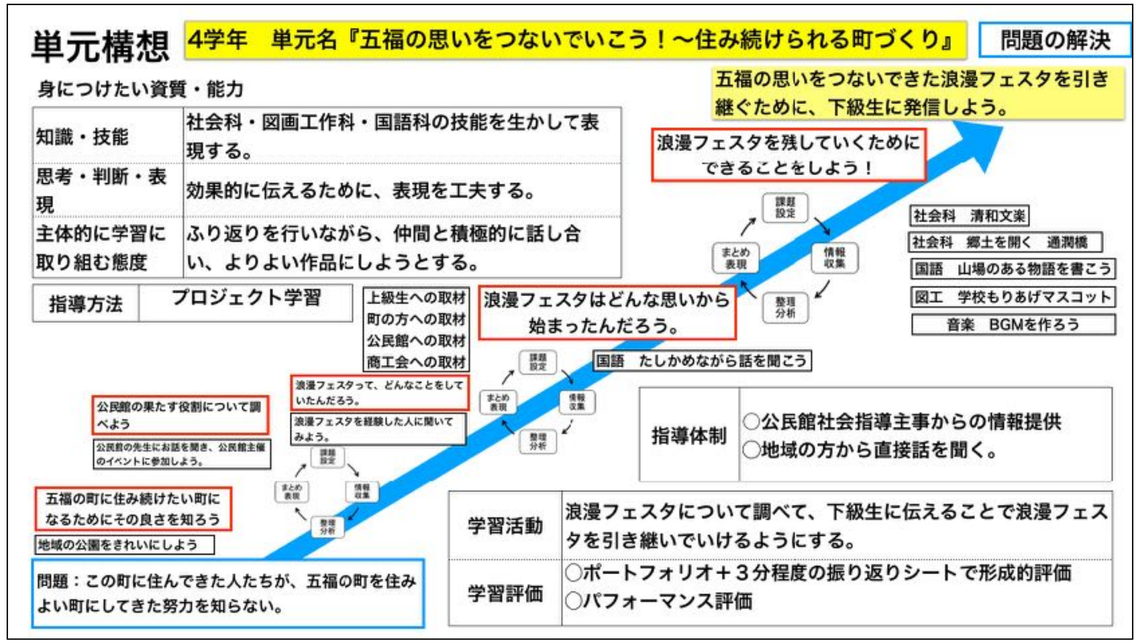


友達にこれまで学んだことをまとめて発表し、相互評価をする。

STEAM教育　具体的実践（4年生）

国語「たしかめながら話を聞こう」

社会教育主事の先生から公民館の役割についてお話しいただき、公民館主催の「ふるまちさるき」に参加して、公民館の取り組んでいることを体験しました。



単元構想　4学年　単元名『五福の思いをつないでいこう！～住み続けられる町づくり』　問題の解決

身につけたい資質・能力

知識・技能	社会科・図画工作科・国語科の技能を生かして表現する。
思考・判断・表現	効果的に伝えるために、表現を工夫する。
主体的に学習に取り組む態度	ふり返りを行いながら、仲間と積極的に話し合い、よりよい作品にしようとする。
指導方法	プロジェクト学習

上級生への取材
町の方への取材
公民館への取材
商工会への取材

五福の思いをつないできた浪漫フェスタを引き継ぐために、下級生に発信しよう。

浪漫フェスタを残していくためにできることをしよう！

浪漫フェスタはどんな思いから始まったんだろう。

国語　たしかめながら話を聞こう

浪漫フェスタって、どんなことをしていたんだろう。

浪漫フェスタを経験した人に聞いてみよう。

公民館の果たす役割について調べよう

公民館の先生にお話を聞き、公民館主催のイベントに参加しよう。

五福の町に住み続けたい町になるためにその良さを知ろう

地域の公園をきれいにしよう

問題：この町に住んできた人たちが、五福の町を住みよい町にしてきた努力を知らない。

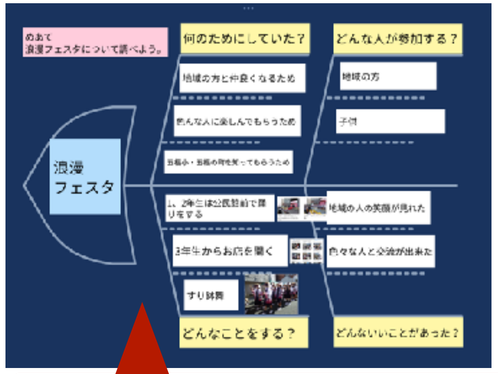
課題設定 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

社会科　清和文楽
社会科　郷土を開く　通潤橋
国語　山場のある物語を書こう
図工　学校もりあげマスコット
音楽　BGMを作ろう

指導体制	○公民館社会指導主事からの情報提供 ○地域の方から直接話を聞く。
学習活動	浪漫フェスタについて調べて、下級生に伝えることで浪漫フェスタを引き継いでいけるようにする。
学習評価	○ポートフォリオ＋３分程度の振り返りシートで形成的評価 ○パフォーマンス評価

公民館との連携した学習を経て、「住み続けられる町」にするために自分たちにできることを話し合いました。

総合「五福の町を住み続けたい町に」の学習で、鍛冶屋町公園の清掃を行いました。地域の公園へのポイ捨て禁止を呼びかける動画をグループで作成しました。



シンキングツールで整理して浪漫フェスタについて分かったことを整理する。

浪漫フェスタを残していくために、下級生に発信しよう

①浪漫フェスタの伝統的な踊り「すり鉢舞」の紹介
②「からし蓮根の野望」を一緒に踊る。
③こども神輿を一緒に担いで体験する。

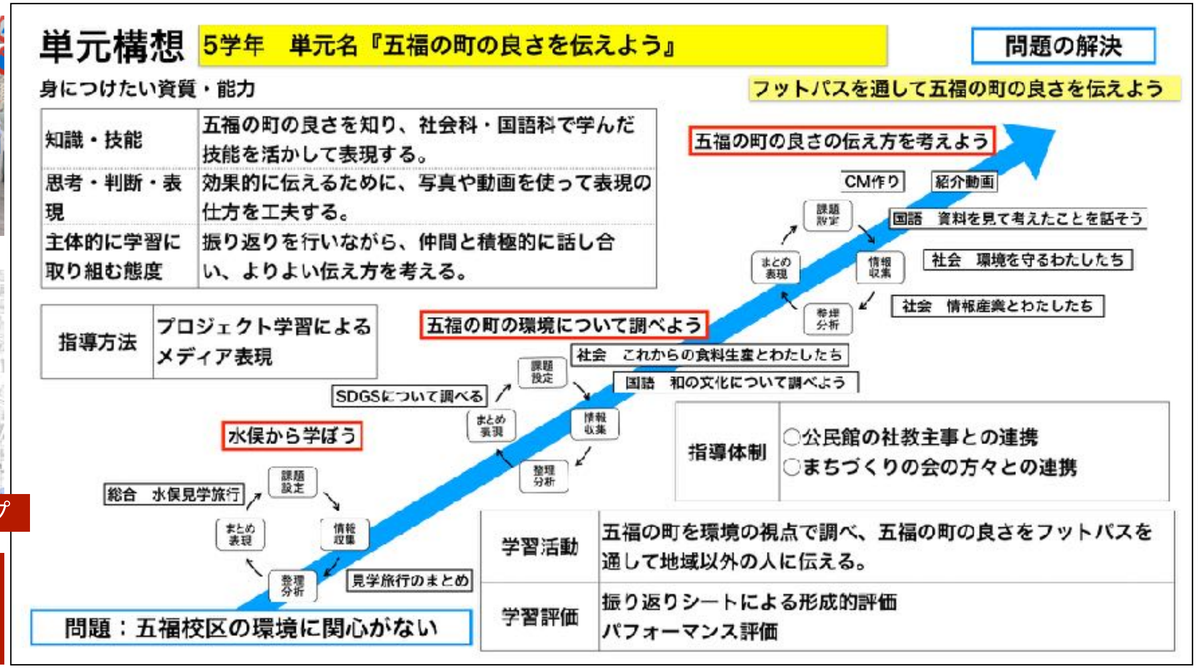
社会「わたしたちの町の文化財や年中行事」

浪漫フェスタの「すり鉢舞」を作曲された地域の方にお話を伺う。

STEAM教育　具体的実践（5年生）

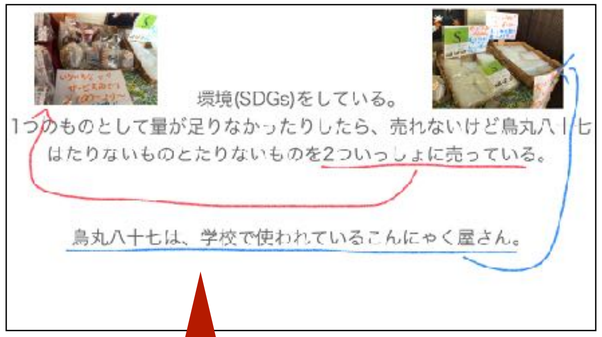
五福の町の和の文化マップ

国語の「和の文化を受けつぐ」の学習から五福の和の文化を調べる。

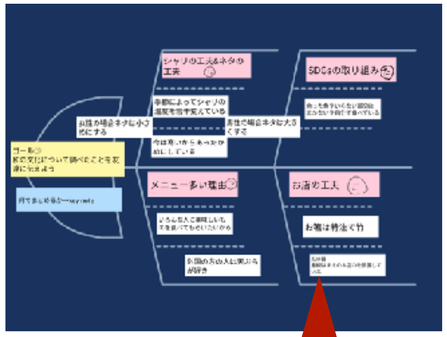


フットパスを通して五福の町の良さを伝える

五福の良さを知ってもらうためのフットパスを自分達で計画、実施する。



水俣学習とつなげてSDGSの視点を入れながら、和の文化のお店や建物でインタビューを行い、五福の町の良さに気づく。



シンキングツールで整理して友達に伝えるためのプレゼン資料を作成。

友達の発表を聴き、相互評価を行う。国語の「伝えたい、心に残る言葉」の学習を振り返りながら評価項目を作り、相互評価を通しプレゼンテーションをブラッシュアップしていく。

地域外の人に五福の町の良さを伝えるために公民館で行われているフットパスを学ぶ。

STEAM教育　具体的実践（6年生）

地域の方から、五福の町の歴史を教えてもらう！

単元構想

6学年　単元名『五福の町の未来のために、自分たちにできることをしよう』

身につけたい資質・能力

知識・技能	地域の良さや課題を知り、これまで他の教科で得た技能を生かして表現する。
思考・判断・表現	効果的に伝えるために、表現を工夫する。
主体的に学習に取り組む態度	地域の人や友達と積極的に関わったり、話し合ったりして活動したり、表現したりしようとする。

指導方法	プロジェクト学習

問題：五福の町の課題を知らない。

国語「町の幸福論」
課題設定 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

五福の町にはどんな魅力があり、どんな課題があるのだろう。

地域のことを調べる

総合　Keynoteの使い方

課題設定 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

五福の町の未来のために自分たちに何ができるのだろう。

町づくりのことを調べる

地域の方、都市デザイン課の方などへのプレゼンテーション

提案したことを実現するにはどうするといいのだろう。

課題設定 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

地域の方への取材

外国語　unit6「This is my town.」

図工　「つながる造形」

国語「プロフェッショナルたち」

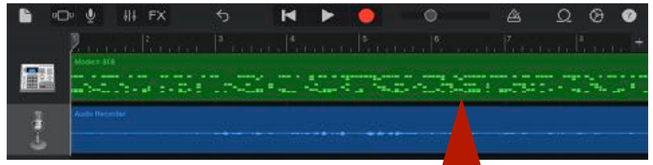
地域の人と関わる活動

問題の解決

五福の町のために自分たちにできることをして、五福の町に恩返しをしよう。

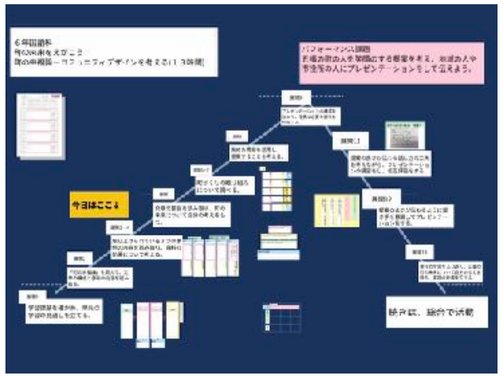
指導体制	○都市デザイン課による「景観」学習 ○地域の方から直接話を聞く。 ○公民館社会指導主事からの情報提供
学習活動	地域の魅力や課題を知ることで、未来の五福のために、今の自分たちにできることをして地域に恩返しをする。
学習評価	振り返りシートでの形成的評価 パフォーマンス評価

自分達にできることを通して感謝を伝える

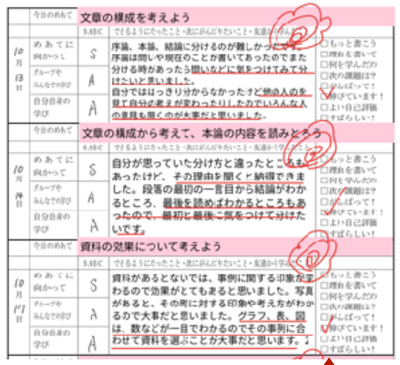


ガレージバンドを使い、五福の町をアピールするラップを作成。地域のイベントで発表を行う。

ゲストティーチャーとして熊本市役所都市デザイン課の方をお招きし、町の課題について教えてもらう。



国語の「町の幸福論」の学習を生かし、未来の町についてプレゼンテーションを使い発表を行う。発表会では、ゲストティーチャーの方々から、アドバイスをいただく。



振り返りを次の学習に活かす。

五福の町のために自分達ができることとして、ゴミ拾いを計画、実施する。